

2017年度 発達支援論コース 卒業論文・修士論文発表会

日時：2018年3月1日（木）10：00～17：00

会場：鶴甲第2キャンパス F257（F棟2階）

主催：発達支援論コース

★修士院生

10:00～10:15 共創を目指すコミュニティの形成過程におけるインプロワークショップの
意義と課題

10:15～10:30 知的障害者の社会参加におけるガイドヘルプサービスの可能性

10:30～10:45 高等教育機関におけるインクルーシブ教育の意味

10:45～11:00 教育と福祉をつないだ学習権の保障に関する総合的研究の重要性について

11:00～11:20 休憩

★学部生

11:20～11:30 社会教育としての合唱活動が子どもたちの人間形成に与える影響について
の一考察

11:30～11:40 児童養護施設職員の関わりが入所する被虐待児との安定的なアタッチメン
ト形成に及ぼす影響

11:40～11:50 キャリアを考える大学生：「転職」という選択肢

11:50～12:00 女子大学生のアイデンティティの揺らぎと化粧：アイデンティティ確立の
ための化粧

12:00～12:10 学校生活におけるコミュニティ内でのアウトティング実態

12:10～12:20 GROW モデルコーチングの部活動への応用：神戸大学硬式野球部での実
践

12:20～12:30 合唱活動を取り入れた小学校防災教育授業の開発：防災を「自分の問題」
として考えられる児童の育成

12:30～12:40 家族のつながりが生み出す要因についての研究：篠山市の灰小屋の伝承に
着目して

12:40～13:30 休憩（昼食）

13:30～13:40 原子力発電の日本導入の歴史と現在の意識調査から原子力発電の在り方を
考察する研究

- 13:40～13:50 日本における切れ目ない子育て支援のありかたを考える研究：フィンランドのネウボラを手がかりにして
- 13:50～14:00 育児不安研究の変遷から考える育児不安研究の今後の在り方
- 14:00～14:10 教師の質の差の是正を目的とするティーチングポートフォリオの可能性
- 14:10～14:20 成育環境が母子家庭の子どもに及ぼす影響
- 14:20～14:30 大学生の過剰適応と居場所感に関する研究：部活動・サークル集団を対象として
- 14:30～14:40 外食産業の地位向上を目指して

14:40～15:00 休憩

★修士院生（1年履修コース）

- 15:00～15:15 障害のある人たちとの共生社会を目指す音楽活動：地域における実践例に基づくコミュニティ音楽療法の可能性と課題に関する考察
- 15:15～15:30 母親の育児に対する態度変容を目指したプログラムの効果に関する研究
- 15:30～15:45 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための取組に関する一考察：S市の就学相談からみえてくるもの
- 15:45～16:00 フォーマルエデュケーションとして位置付けられた大学におけるキャリア教育の意義と課題：批判的教育学の視点から
- 16:00～16:15 人生100時代を見据えた女性の生き方に関する研究：中年期女性のこれまでとこれからを手がかりとして
- 16:15～16:30 講評タイム
- 16:30～17:00 後片付けなど